

2024年3月期 決算説明会

2024年 5月20日



三井住友建設

2024年3月期 決算説明会

I. 2024年3月期 決算概要〔2024年5月10日公表〕

II. 中期経営計画の進捗 取り組み状況

2024年3月期 決算説明会

I. 2024年3月期 決算概要〔2024年5月10日公表〕

II. 中期経営計画の進捗 取り組み状況

決算のポイント

FY23 決算実績

- 建設投資は公共・民間投資ともに底堅く推移
- 建設資機材価格の高騰や、労務需給の逼迫など、厳しい状況は継続
- 連結業績は売上高・利益ともに前期比増加、3期ぶりの黒字回復
 - 土木事業の利益、海外事業の売上高・利益は過去最高水準
 - 建築事業では国内の大型工事2件において追加の損失を計上
 - この影響により営業利益は公表値を大きく下回るも、一般管理費の削減、営業外損益の改善、特別損益の計上などにより、当期純利益は公表値並みの水準を確保
- 個別受注は、施工体制確保を最優先に、量より質を重視する方針を徹底

FY24 業績予想

- 建設投資は引き続き堅調な推移が見込まれる
- 建設資機材価格および労務需給の動向、建設業の担い手不足、時間外労働の上限規制適用など、不透明な事業環境が継続する見通し
- 受注量抑制を継続、良質工事への入替が進み、利益は増加を見込む

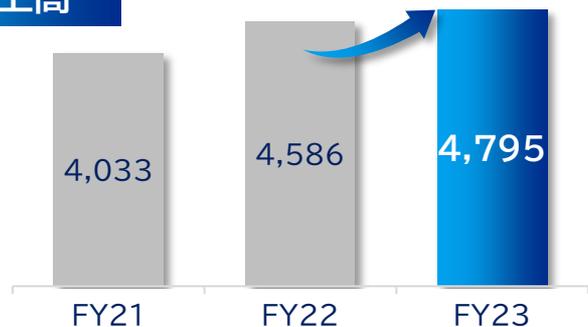
業績ハイライト(連結・個別)

- 売上高: 海外子会社の売上高増加により、連結は前期比増加
- 営業利益: 個別の売上総利益回復と、海外子会社の売上高増加に伴う利益増加

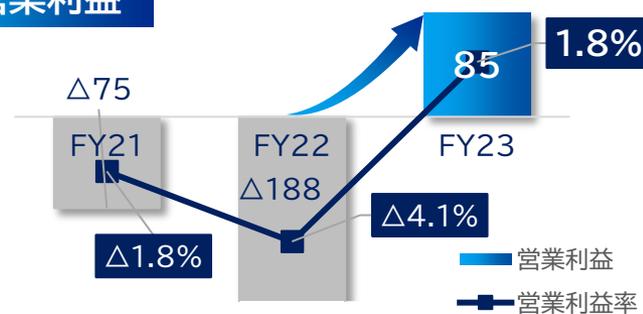
(単位:億円)

	連結				個別			
	FY21 実績	FY22 実績	FY23 実績	前期比	FY21 実績	FY22 実績	FY23 実績	前期比
売上高	4,033	4,586	4,795	+209	3,044	3,376	3,372	△4
売上総利益	182	91	351	+260	60	△48	200	+249
一般管理費	256	278	266	△12	176	182	166	△16
営業利益	△75	△188	85	+273	△116	△231	34	+264
営業利益率	△1.8%	△4.1%	1.8%	+5.9pt	△3.8%	△6.8%	1.0%	+7.8pt
経常利益	△83	△185	63	+248	△115	△214	45	+260
親会社株主に帰属する 当期純利益	△70	△257	40	+297	△86	△256	45	+301

連結売上高



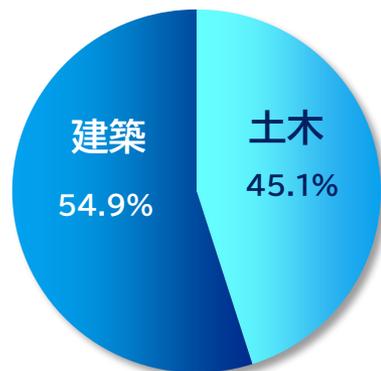
連結営業利益



セグメント別業績(連結)

- 土木:個別・海外子会社の増加により、利益額・利益率は過去最高水準
- 建築:売上高は海外子会社の増加、利益は個別・国内子会社の悪化が影響

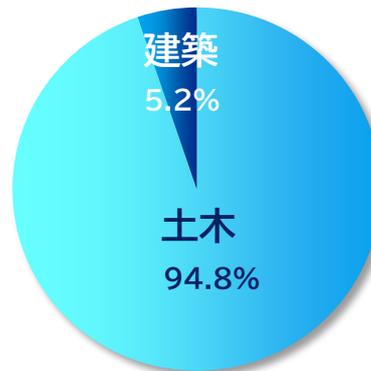
セグメント別売上高



(単位:億円)

	FY21 実績	FY22 実績	FY23 実績	前期比
土木	1,921	2,219	2,167	Δ52
建築	2,111	2,377	2,637	+261
その他	1	Δ10	Δ9	+0
合計	4,033	4,586	4,795	+209

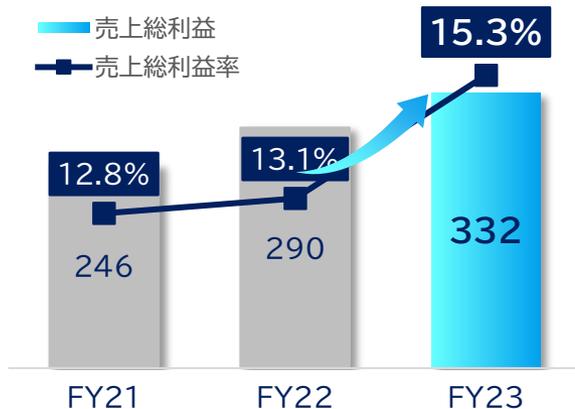
セグメント別売上総利益



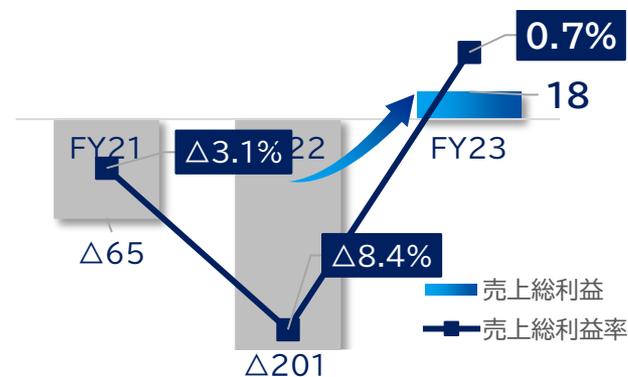
(単位:億円)

	FY21 実績	FY22 実績	FY23 実績	前期比
土木	246	290	332	+42
建築	Δ65	Δ201	18	+219
その他	1	1	1	Δ1
合計	182	91	351	+260

土木セグメント売上総利益



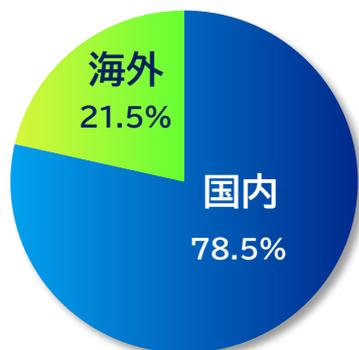
建築セグメント売上総利益



国内・海外別業績（連結）

- 海外：工事量の増加により、事業規模は1,000億円超に成長
当社の「成長ドライブ」として事業基盤の強化を継続

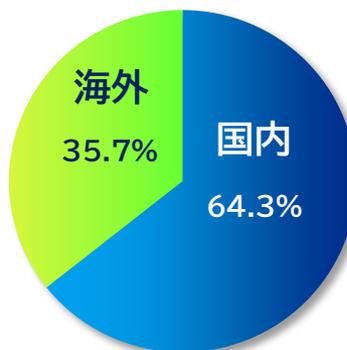
国内外別売上高



(単位:億円)

実績	国内	海外	(構成比)
FY21	3,342	691	(17.1%)
FY22	3,659	927	(20.2%)
FY23	3,765	1,030	(21.5%)

国内外別売上総利益



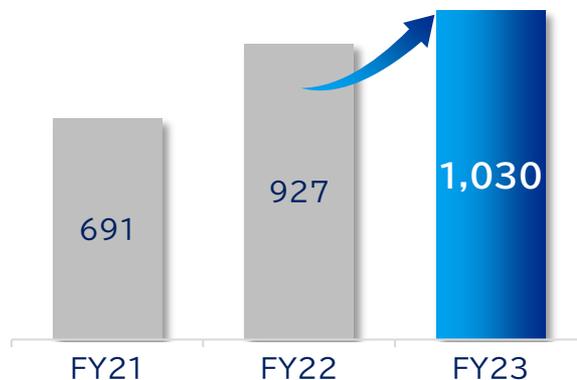
(単位:億円)

実績	国内	海外	(構成比)
FY21	146	36	(19.8%)
FY22	21	70	(77.3%)
FY23	226	125	(35.7%)

国別売上高

FY23実績	
フィリピン	262
インド	191
インドネシア	155
タイ	80
シンガポール	73
その他	269
海外合計	1,030

海外売上高



海外売上総利益



建設受注高(個別)

- 土木:国内は前期比増加、規模や工種のバランスを勘案し良質な案件を獲得
- 建築:量より質を重視する方針の下、採算性と施工体制の確保を最優先

個別受注高

(単位:億円)

	FY21 実績	FY22 実績	FY23 実績	前期比
国内官公庁	886	753	846	+93
国内民間	218	199	171	△28
海外	58	789	288	△501
土木	1,163	1,742	1,306	△436
国内官公庁	259	49	52	+3
国内民間	1,646	1,341	959	△383
海外	29	117	91	△26
建築	1,933	1,507	1,101	△406
国内官公庁	1,145	802	898	+96
国内民間	1,864	1,540	1,129	△411
海外	87	906	379	△527
合計	3,096	3,248	2,407	△842

海外(現地法人含む)	(552)	(1,339)	(941)	(△398)
------------	-------	---------	--------------	--------

セグメント別推移



国内外別推移



建設受注高(個別) 主な受注工事

<土木工事>

発注者	工事名称	
西日本高速道路株式会社	令和4年度 九州自動車道(特定更新等)矢部川橋床版取替工事	補修補強
国土交通省	令和5年度 俵山・豊田道路第2トンネル工事	トンネル
名古屋市上下水道局	城北雨水幹線下水道築造工事	シールド

<建築工事>

発注者	工事名称	
三井不動産株式会社	(仮称)三井アウトレットパークマリンピア神戸建替工事	商業施設
住友EXPO2025 推進委員会	住友館建設工事	博覧館
朝日インテックハノイ 株式会社	朝日インテックハノイ ビンフック工場プロジェクト建設工事	工場

完成工事高(個別)

- 完成工事高:手持ち工事が想定通り進捗し、全体としては前期と同水準
- 繰越工事高:建築の大型工事の消化が進み、前期末比で減少

完成工事高

(単位:億円)

	FY21 実績	FY22 実績	FY23 実績	前期比
土木	1,280	1,480	1,402	△78
建築	1,760	1,893	1,967	+74
完成工事高	3,040	3,373	3,369	△4

完成工事高推移

■ 建築
■ 土木



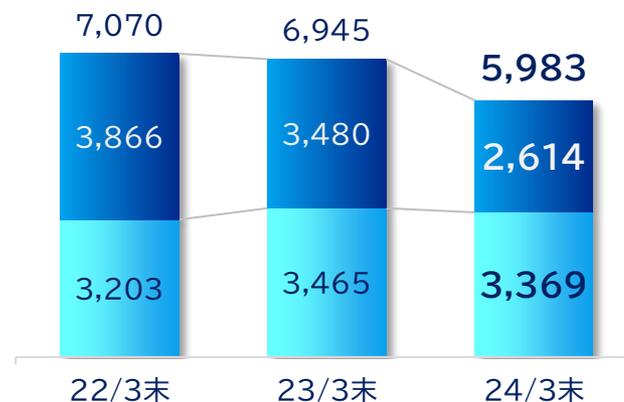
繰越工事高

(単位:億円)

	22/3末 実績	23/3末 実績	24/3末 実績	前期末比
土木	3,203	3,465	3,369	△96
建築	3,866	3,480	2,614	△866
繰越工事高	7,070	6,945	5,983	△963

繰越工事高推移

■ 建築
■ 土木



完成工事総利益(個別)

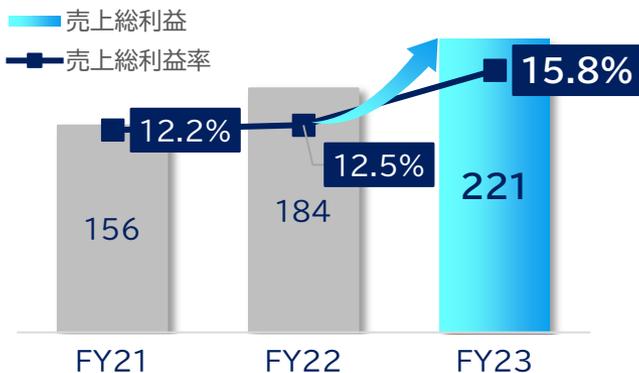
- 土木:設計変更獲得や利益改善により、利益額・利益率は過去最高水準
- 建築:国内の大型工事2件における追加の損失計上が大きく影響

完成工事総利益

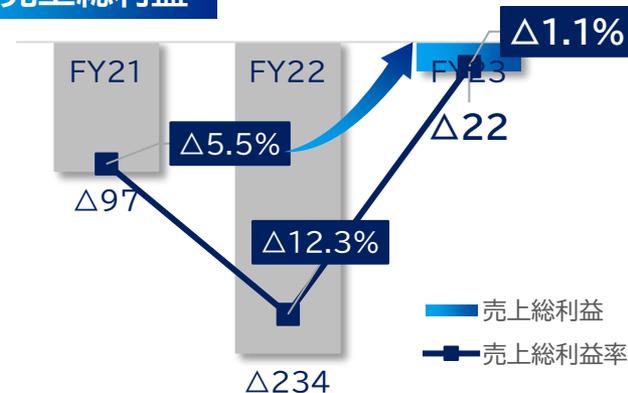
(単位:億円)

	FY21		FY22		FY23		前期比	
	実績		実績		実績		増減率	
土木	156	12.2%	184	12.5%	221	15.8%	+37	+3.3pt
建築	△97	△5.5%	△234	△12.3%	△22	△1.1%	+212	+11.2pt
国内大型建築工事	△219	—	△308	—	△92	—	+216	—
国内大型物流施設	—	—	△16	—	△44	—	△28	—
その他	122	7.3%	90	5.1%	114	6.7%	+24	+1.6pt
完成工事総利益	59	1.9%	△50	△1.5%	199	5.9%	+249	+7.4pt

土木売上総利益



建築売上総利益



連結財政状態・キャッシュフロー

- 連結自己資本比率: 当期純利益の積み上げにより前期末比で改善
- 営業キャッシュフロー: 資金収支改善に努め、前期末比で改善

連結財政状態・キャッシュフロー

(単位: 億円)

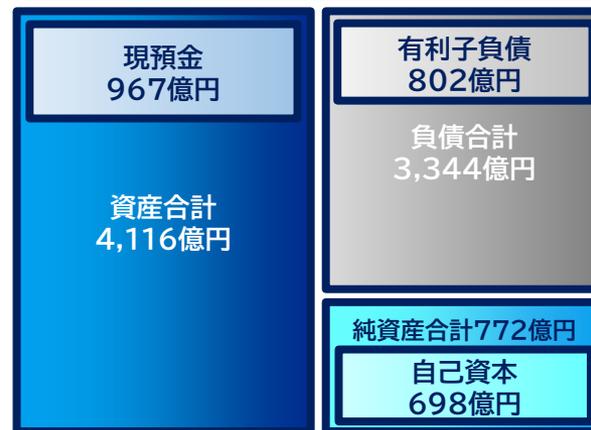
	22/3末 実績	23/3末 実績	24/3末 実績	前期末比
資産合計	3,941	4,102	4,116	+14
(現預金)	(710)	(651)	(967)	(+315)
負債合計	2,944	3,390	3,344	△46
(有利子負債)	(648)	(843)	(802)	(△40)
純資産合計	997	711	772	+60
(自己資本)	(914)	(636)	(698)	(+62)

自己資本比率	23.2%	15.5%	17.0%	+1.5pt
--------	-------	-------	-------	--------

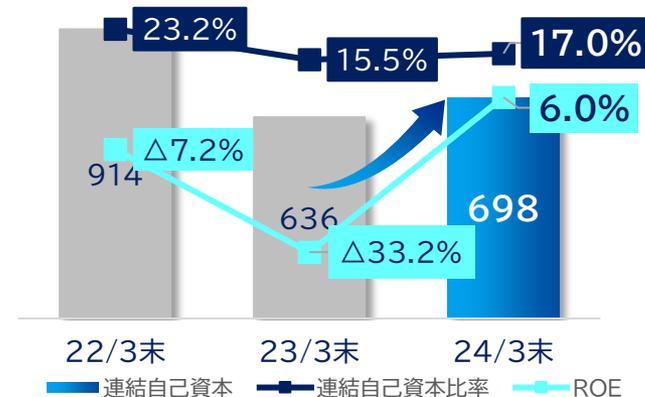
ROE	△7.2%	△33.2%	6.0%	+39.2pt
-----	-------	--------	------	---------

	22/3末 実績	23/3末 実績	24/3末 実績
営業CF	100	△161	215
投資CF	△130	△35	135
財務CF	△21	142	△75
期末現金同等物	651	608	896

連結貸借対照表概略図



連結自己資本



2025年3月期 通期業績予想(連結・個別)

- 売上高:計画的な受注量抑制により売上高は減少する見通し
- 利益:建築工事の採算改善により増加する見通し

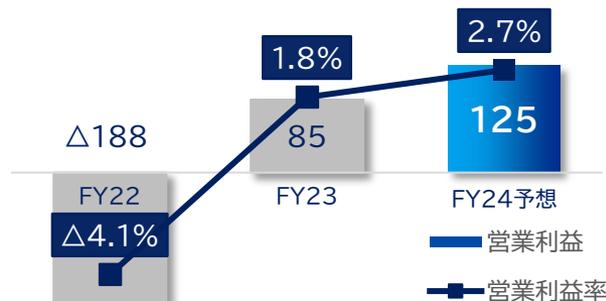
(単位:億円)

	連結				個別			
	FY22 実績	FY23 実績	FY24 予想	前期比	FY22 実績	FY23 実績	FY24 予想	前期比
売上高	4,586	4,795	4,550	△245	3,376	3,372	3,103	△269
売上総利益	91	351	405	+54	△48	200	250	+50
一般管理費	278	266	280	+14	182	166	180	+14
営業利益	△188	85	125	+40	△231	34	70	+36
営業利益率	△4.1%	1.8%	2.7%	+1.0pt	△6.8%	1.0%	2.3%	+1.2pt
経常利益	△185	63	80	+17	△214	45	50	+5
親会社株主に帰属する 当期純利益	△257	40	45	+5	△256	45	40	△5

連結売上高



連結営業利益



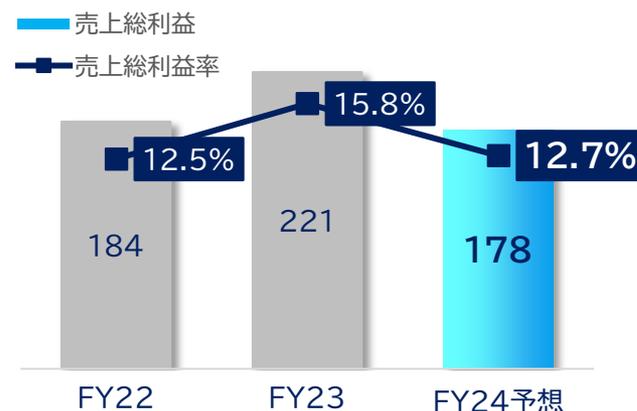
2025年3月期 通期業績予想(個別 詳細)

- 土木:例年に比べ完成工事が少ないものの、堅調に推移する見通し
- 建築:手持ちの低採算工事から良質な新規受注工事への入替を着実に進める

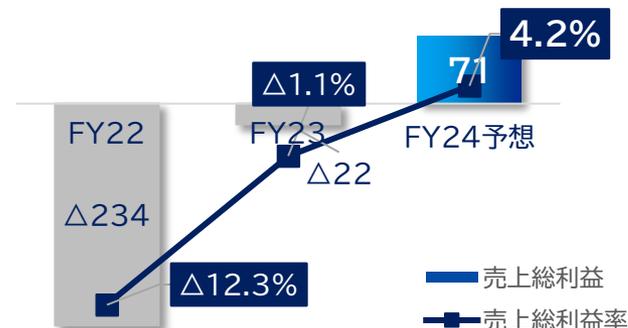
(単位:億円)

	FY22 実績	FY23 実績	FY24 予想	前期比
土木	1,480	1,402	1,400	△2
建築	1,893	1,967	1,700	△267
その他	3	3	3	0
売上高	3,376	3,372	3,103	△269
土木	184	221	178	△43
	12.5%	15.8%	12.7%	△3.1pt
建築	△234	△22	71	+93
	△12.3%	△1.1%	4.2%	+5.3pt
その他	1	1	1	0
売上総利益	△48	200	250	+50
売上総利益率	△1.4%	5.9%	8.1%	+2.2pt
一般管理費	182	166	180	+14
営業利益	△231	34	70	+36
営業利益率	△6.8%	1.0%	2.3%	+1.3pt
経常利益	△214	45	50	+5
当期純利益	△256	45	40	△5

土木売上総利益



建築売上総利益



2025年3月期 建設受注高(個別)予想

- 土木・建築ともに施工体制の観点から、当面は受注量の抑制を継続
- 量より質を重視する方針を堅持し、良質な案件の獲得に注力

個別受注高

(単位:億円)

	FY22 実績	FY23 実績	FY24 予想	前期比
国内	952	1,017	700	△317
海外	789	288	100	△188
土木	1,742	1,306	800	△506
国内	1,390	1,010	950	△60
海外	117	91	50	△41
建築	1,507	1,101	1,000	△101
国内	2,343	2,028	1,650	△378
海外	906	379	150	△229
合計	3,248	2,407	1,800	△607

セグメント別推移(受注高)



国内外別推移(受注高)



(参考)繰越工事高

(単位:億円)

	23/3末 実績	24/3末 実績	25/3末 予想	前期末比
土木	3,465	3,369	2,769	△600
建築	3,480	2,614	1,914	△700
繰越工事高	6,945	5,983	4,683	△1,301

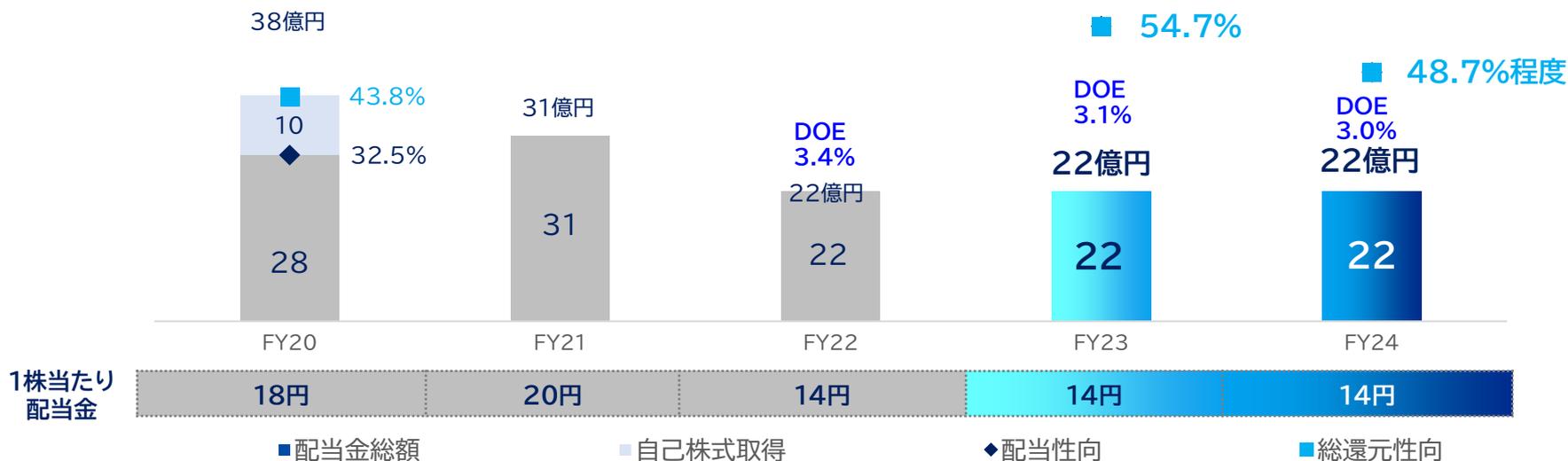
株主還元

- 総還元性向50%を目安に、自己資本配当率(DOE)3%を下限値として安定した株主還元を実施
- FY23は1株当たり配当金は14円、FY24についても同額の14円を見込む

	年間配当金(円)			配当性向 (連結)	自己資本 配当率(連結)	総還元性向 (連結)
	第2四半期末	期末	合計			
FY22	0.00	14.00	14.00	-	3.4%	-
FY23	0.00	14.00	14.00	54.7%	3.1%	54.7%
FY24(予想)	0.00	14.00	14.00	48.7%	3.0%	48.7%

配当性向・総還元性向の推移

(単位:億円)



2024年3月期 決算説明会

I. 2024年3月期 決算概要〔2024年5月10日公表〕

II. 中期経営計画の進捗 取り組み状況

中期経営計画 2022-2024 <2023年5月修正>の進捗

経営数値計画の進捗状況

業績計画(連結業績目標)

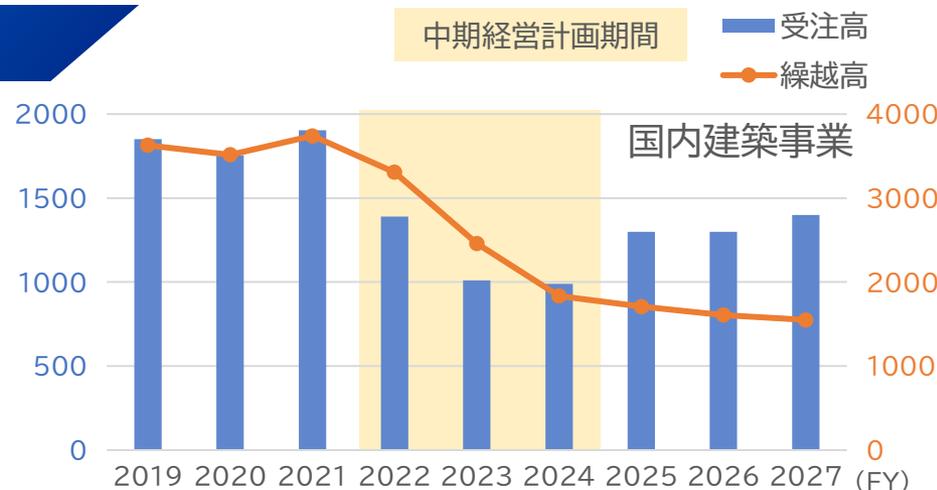
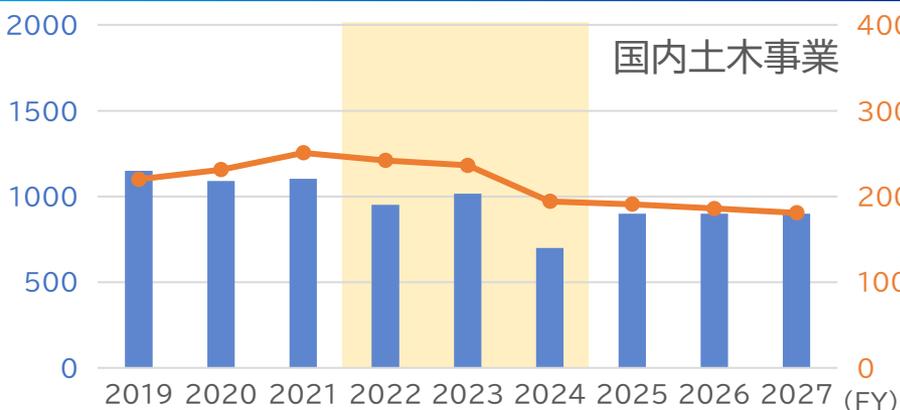
(億円)

	中期経営計画 2022-2024				2025	2026	2027
	2022	2023	2023(実績)	2024			
連結売上高	4,586	4,730	4,795	4,670	4,360	4,400	4,500
連結営業利益	△188	130	85	160	167	183	200
利益率	△4.1%	2.8%	1.8%	3.4%	3.8%	4.2%	4.4%

➡連結営業利益は黒字化した~~が~~、計画値には届かず、建築事業の改善が急務

➡長期計数(特に売上高)については施工体制を考慮しつつ、今後の動向を慎重に見極め

受注を抑制し、適切な工事量管理



中期経営計画 2022-2024 <2023年5月修正>の進捗

企業価値向上にむけて

課題認識

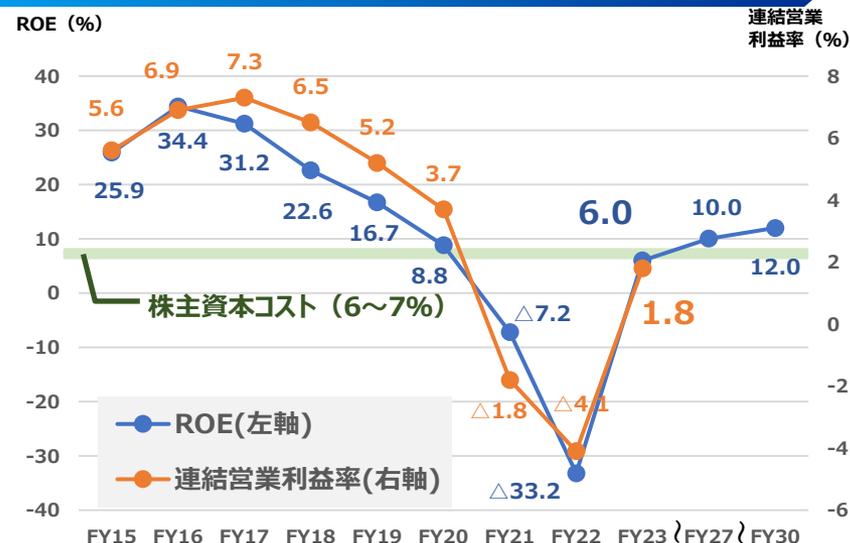
「収益力の向上」と「資本効率向上」は優先すべき経営課題と捉え、ROEの向上を目標に掲げる

- ➔ 株価はPBR1倍を割れる状況が継続している
- ➔ ROEの向上を図り、PBRの改善に取り組み、企業価値の向上を目指す
- ➔ 資本効率向上の観点から政策保有株式の縮減

株価とPBRの推移



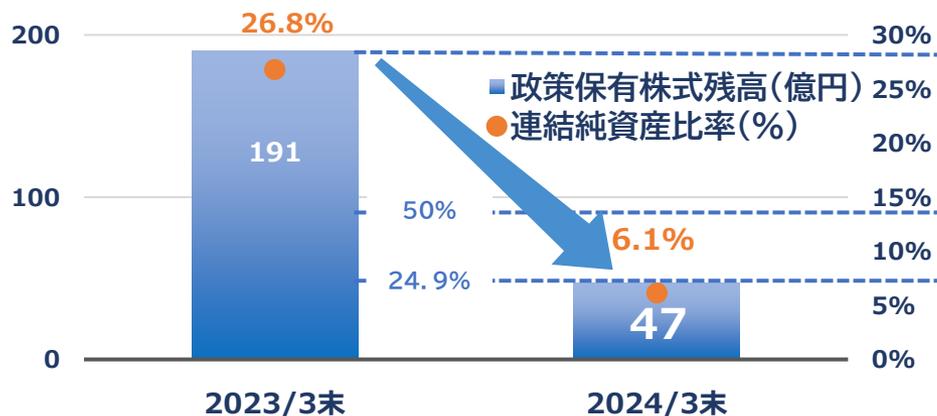
ROEと連結営業利益



中期経営計画 2022-2024 <2023年5月修正>の進捗

企業価値向上にむけて

政策保有株式の縮減



政策保有株式残高を2024年度までに50%まで縮減※

目標を前倒しで達成
(2023年度末時点で24.9%※)

※2022年度比

取締役会の監督機能強化

新たに社内2名、社外3名の取締役を選任し、更なるガバナンス強化を図る※

✓新たな3名の社外取締役については、大企業トップ経験者2名、女性1名

社内取締役(4名)

社外取締役(5名)

監査役(5名)

新任 2名

退任 2名

新任3名

退任3名

新任2名

退任2名

➡過半数の社外取締役体制

※就任は本年6月下旬開催予定の当社定時株主総会にて決定される予定

2024年問題への対応

問題の本質

個人の意識改革
効率的な働き方

現場をサポートする
組織的な対応

DXの推進
省人化・機械化

2024年問題への対応 法規制の遵守



社員のワークライフバランスの実現
働き甲斐を実感できる職場環境を醸成

+ 生産性向上

現場業務の効率化

内勤部門作業所支援チームを新設

- ✓現場がよりコア業務に集中できる
環境を整備 バックアップオフィスの拡充



現場のフレックス制度活用など 働き方の見直し

- ✓現場朝礼の交代制導入

フロントローディングの推進

- ✓設計～施工計画をBIM/CIMを用いて効率化

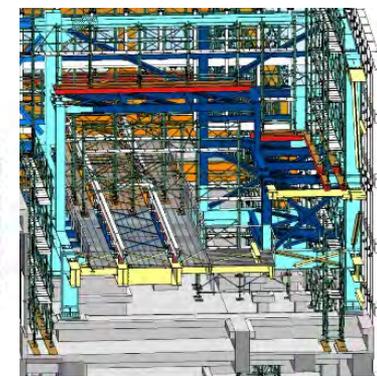
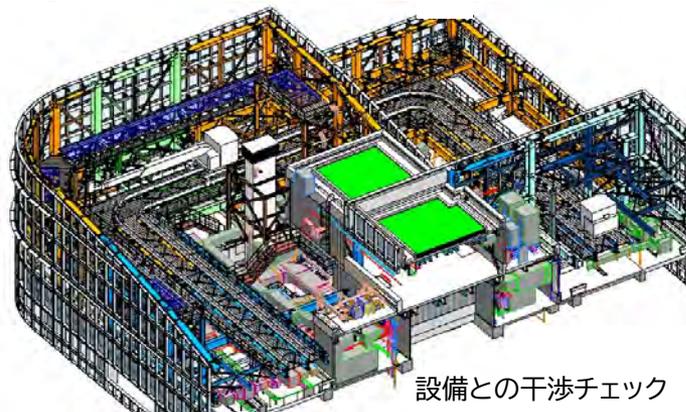
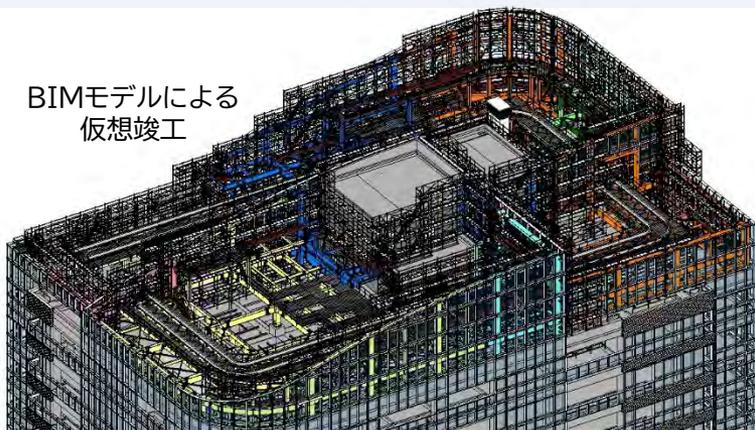
2024年問題への対応

現場の生産性向上に寄与するデジタル技術活用

✔ BIM/CIMによる仮想竣工を目指したフロントローディング

- 基本計画から実施設計に至る過程で、BIM/CIMを活用した施工前のフロントローディングを進め、着工前に仮想竣工を目指す
- 設計図と施工図の齟齬をなくし、かつ着工前に施主との合意形成を取りながら問題点の解決と要望の組み込みが可能となる
- 仮想竣工モデルを基に、現実の施工を進めることで、工事段階の手戻りを排除し、施工の効率化と生産性の向上を実現することが可能となる

BIMモデルによる
仮想竣工



施工計画の検討



2024年問題への対応

現場の生産性向上に寄与するデジタル技術活用

ICTを活用した生産プロセス管理のデジタル化

- 国内大型建築工事(大型で複雑な急速施工の超高層建物)において、人的努力だけでは解決できない複雑な生産プロセス管理を実現
- 既存システムと自社開発システムを組み合わせ、ICT技術を統合的に運用するシステムを開発

① Kintone (キントーン)

： 図面・製造・保管・取付などのステータス情報を統合、関係者で共有

② Power Platform (APPS/BI) 【自社開発】

： PCa所在、位置をリアルタイムで把握するシステム

③ DandALL (ダンドール)

： PCa搬入車両の運行管理システム(仕上資材の揚重管理も導入中)

④ かぜみどり

： 施工半断のためリアルタイムで風速・風向をデジタル計測・共有

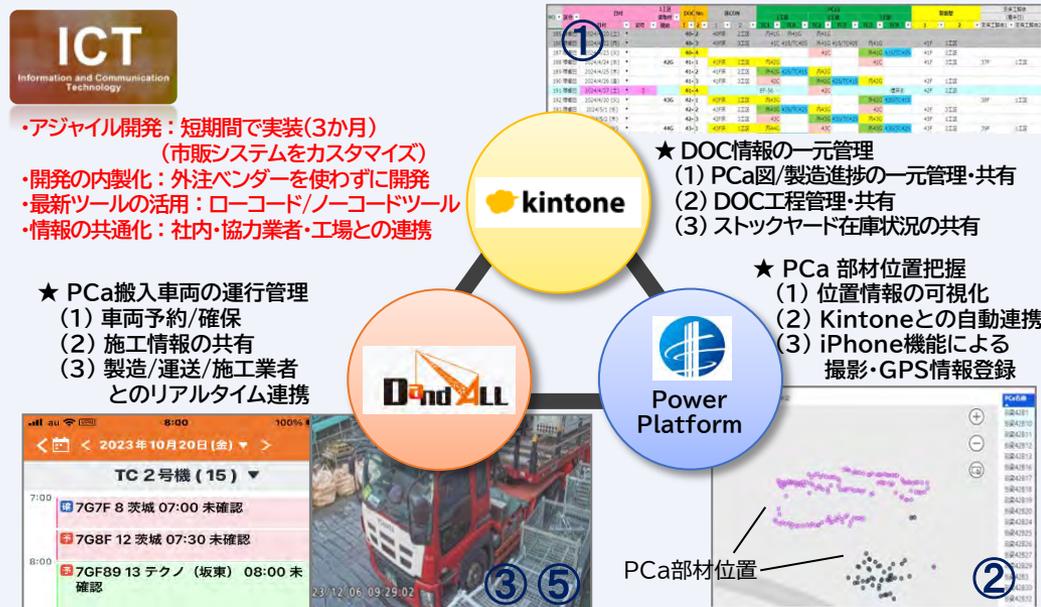
⑤ Safie (セーフィー)

： WebカメラによるPCa部材搬入状況モニタリング(ドライバーにも共有)

⑥ Starlink (Wi-Fi)

： 衛星通信をTCに設置、高層部のWi-Fi通信を確保

「開発システムの概念図」

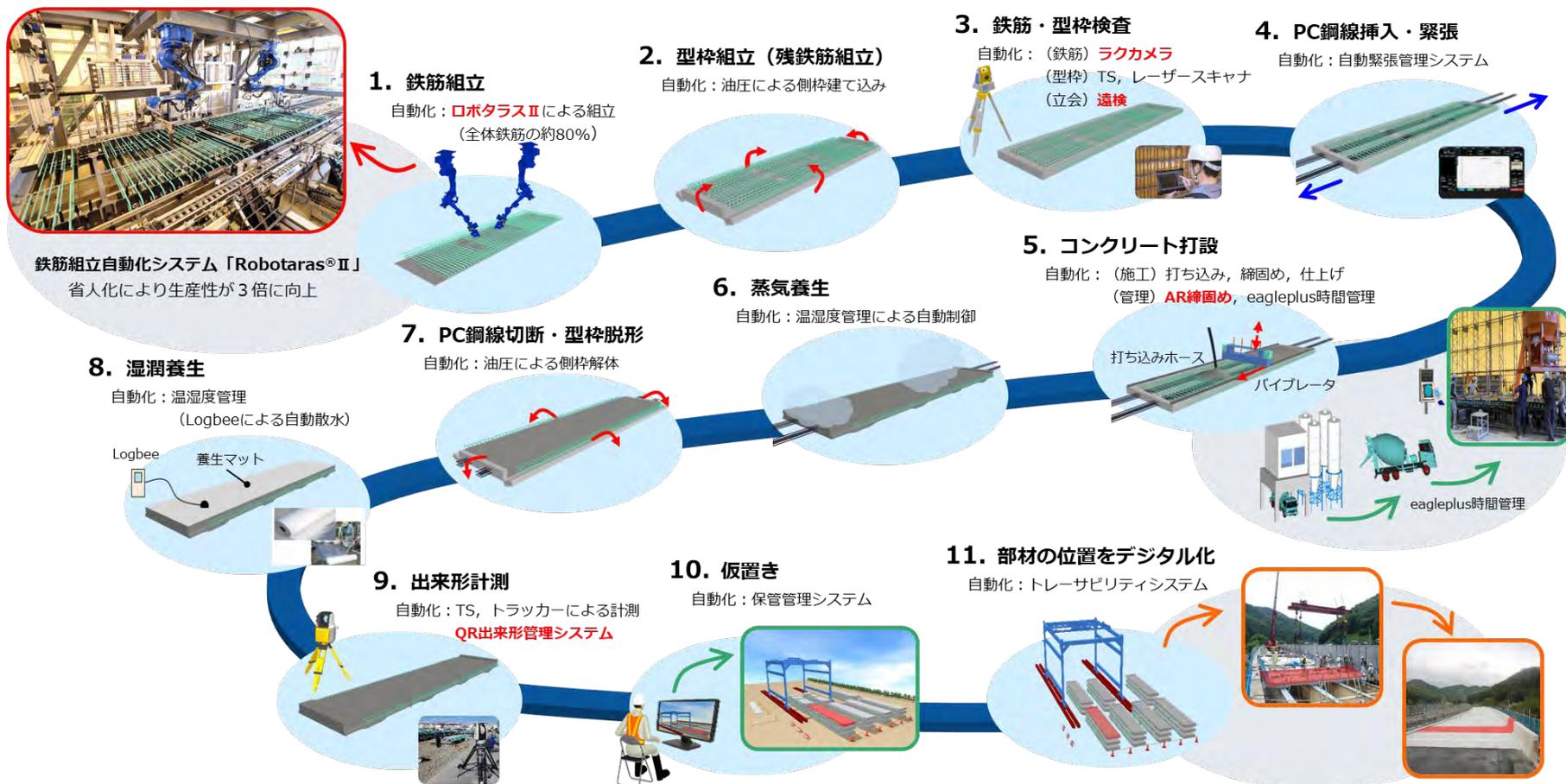


今後の大型・超高層案件に標準システムとして適用予定

2024年問題への対応

施工の自動化に向けたDXの取り組み ~i-con2.0の実現に向けて~

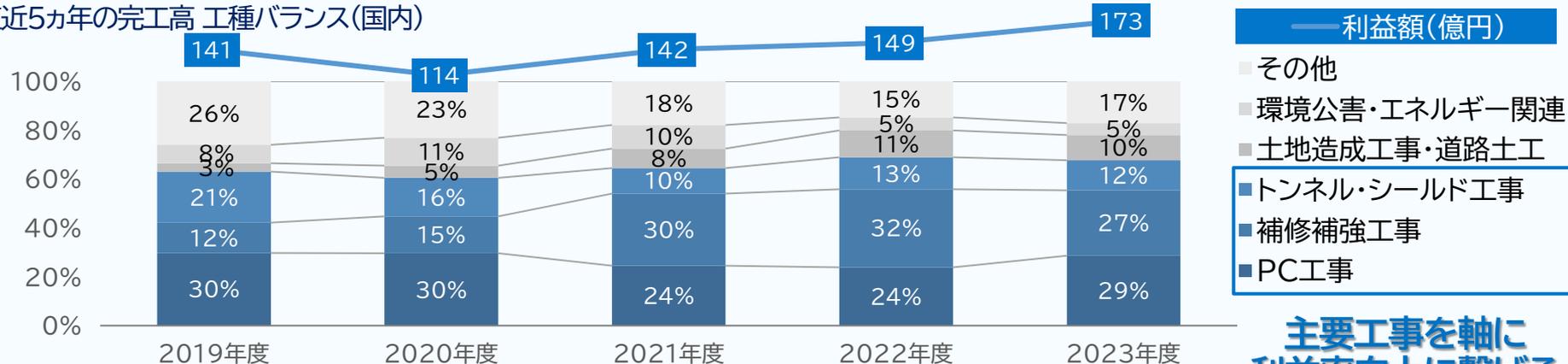
自社工場(能登川工場)での二次製品製作の自動化へ



手持ち工事は工種バランス 内容ともに良い状態 会社業績を牽引

大規模更新は高い水準を維持しながら、良質な橋梁・トンネルにも継続的に取り組み

直近5カ年の完工高 工種バランス(国内)



主要工事を軸に
利益率向上に繋げる

2023年度の主な完成工事



工事名:東北自動車道 仲田橋床版取替工事
概要 :鋼橋の床版取替工4橋
床版取替面積 A=2,240m²



工事名:用地造成事業 西尾次世代産業地区
整地工事
概要 :盛土工 約153万m³ 法面整形工 他



工事名:国道424号(仮称切目辻トンネル)
道路改良工事
概要 :トンネル延長 L=829m

最重要課題への取り組み（国内大型建築工事への対応/国内建築事業の改善）

国内大型建築工事の現状

現在の施工状況

➔ PCa取付は高層階を施工中、仕上げサイクル施工に入り、工程通りに進捗

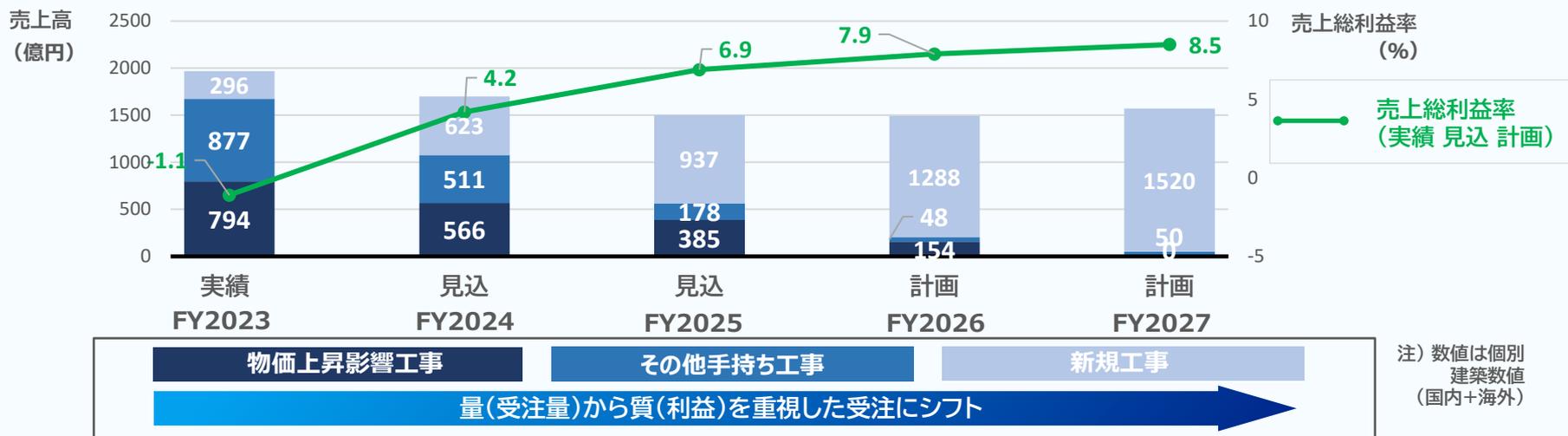
工事審査の厳格化

再発防止策として、大型工事の取組審査をより厳格化した「特別工事審査」をルール化

➔ 厳格化した審査を6件実施
受注時利益率も改善傾向

採算を確保した新規工事への入れ替え

利益率(質)を重視した受注と手持ち工事の着実な消化を進める



様々な用途の建物への取り組み

Topics:2025 大阪・関西万博「住友館」

- ✓住友400年の歴史発展の礎である四国「別子の嶺」から着想を得た建築デザイン
- ✓住友グループが保有する「住友の森」の木材を合板として建築材で余すことなく活用

➔ 万博が目指す持続可能な開発目標(SDGs)達成に寄与

2023年度の主な完成工事



工事名: (仮称)晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業5-6街区板状棟
概要: 住宅棟6棟915戸 RC造



工事名: 新普通科系高等学校施設新築工事
概要: 教育施設 延床面積 15,599m²
構造・規模 RC造(一部S造)、4階



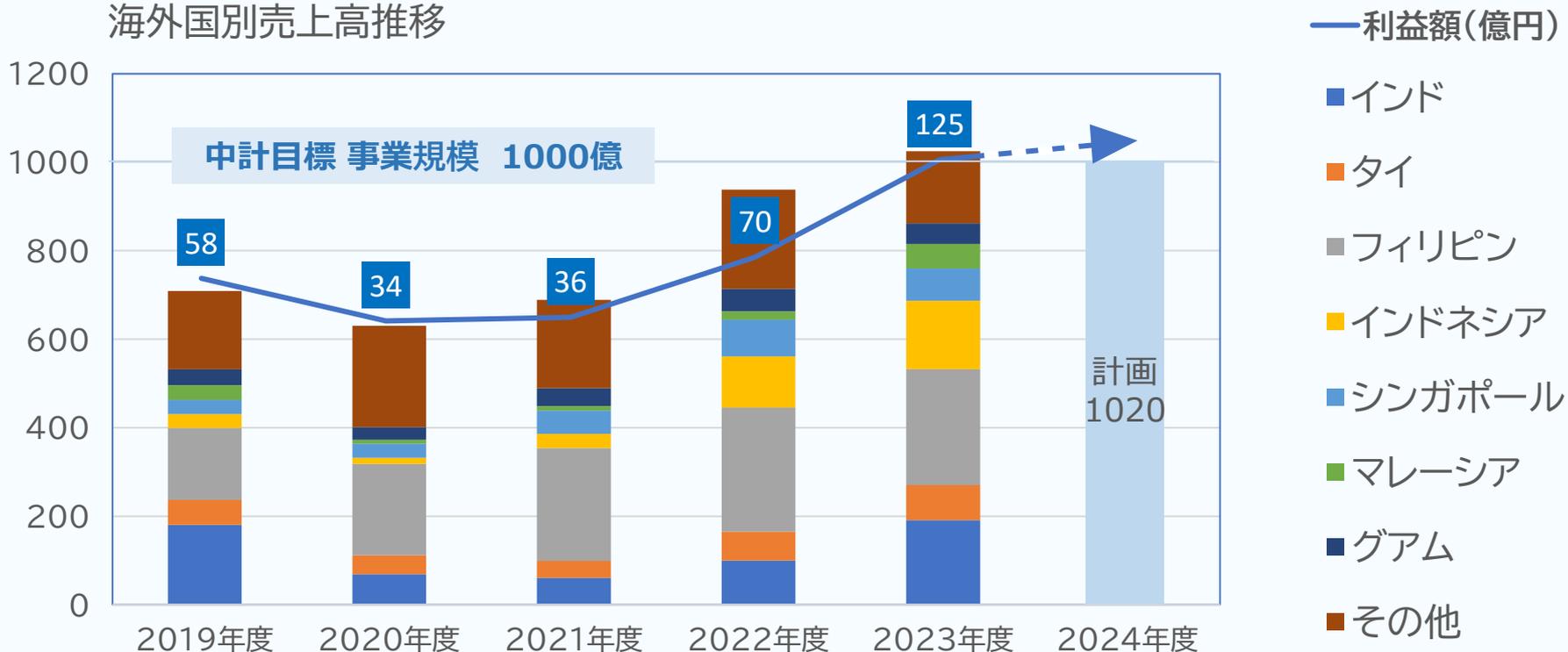
工事名: ふじみ野市文化施設整備事業の内(仮称)西地域文化施設建築工事
概要: 教育文化施設 延床面積 7,333m²

コロナ禍からの回復により海外売上高は過去最高水準へ

中期経営計画に掲げた事業規模へ拡大

- ✓インドやフィリピンの大型工事が寄与し、売上高は1,030億円(過去最大)
- ✓2024年度も同水準の業績を見込む

海外国別売上高推移



当社の成長ドライブとして着実な拡大を図る

海外土木事業

- ✓ ODAを中心とした大型工事の取り組み継続
- ➡ アフリカODAやグアムの案件へも注力
- ➡ 橋梁に限らず鉄道・地下鉄など、各国のトレンドを捉えながら事業を展開

2023年度の主な完成工事



工事名：ダッカ都市交通網整備事業CP06（バングラディッシュ）
概要：4駅舎、PC箱桁橋、場所打ちコンクリート杭
高架区間延長 L=4,202m

海外建築事業

- ✓ インド筆頭に日系企業生産施設を継続
- ➡ 非日系企業や工場以外の案件にも注力
- ➡ 多様な顧客とニーズへの対応体制を強化



工事名：Design & Construction of New Factory at Sri City
施主：THK India Private Limited（インド）
概要：LMガイド生産工場

非財務目標の進捗

サステナビリティ 基本方針

項目		2023年度実績	2024年度目標		
カーボン ニュートラル	CDP評価	A-	A		
	CO2 排出量 削減※1	Scope1+2	▲15.8%	▲20%	基準年 2020年
		Scope3	算定中	▲10%	
人 権	人権DD	人権DDの定着	人権DDの定着 (人権リスクへの対応)		
	救済メカニズム構築※2	運用開始			

※1 SBT1.5℃基準に沿った目標 ※2 ハラスメント、コンプライアンス対応の通報制度は整備済

Topics:2030年温室効果ガス削減目標(1.5℃水準)について、SBTの認定を取得



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

CO2削減目標 指標	基準年	目標年	目標
Scope1+2削減率	2020年度	2030年度	▲50%
Scope3(カテゴリ1+11)削減率	2020年度	2030年度	▲25%

エンゲージメント

項目	2023年度実績	2024年度目標
ワークエンゲージメント指標※3	3.6(5点満点の平均)	4.0以上(5点満点の平均)

※3「組織診断サーベイ」におけるワークエンゲージメントに関する指標

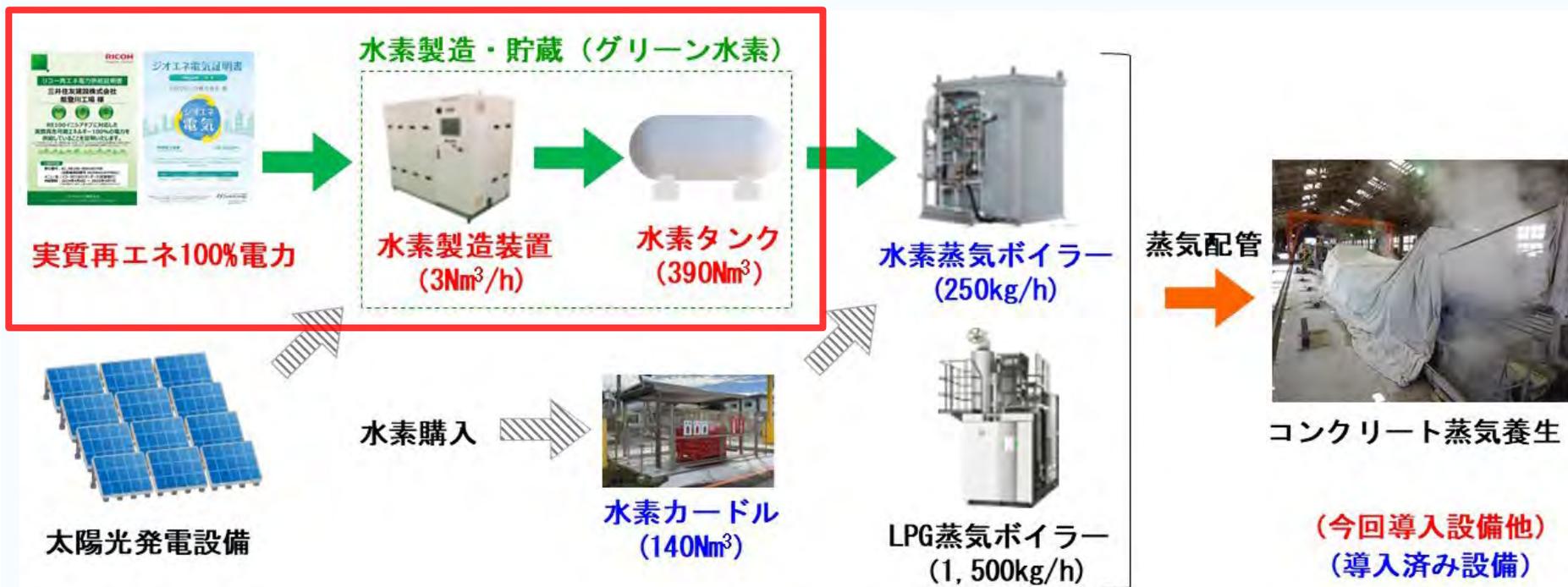
カーボンニュートラル実現に向けた取り組み

Topics 自社工場でのカーボンニュートラル実現に向けた水素活用

能登川工場(滋賀県)に水素製造装置・水素タンクを導入

水素蒸気ボイラーと購入する全電力を実質再エネ100%電力へ切り替え
➔グリーン水素を燃料とする蒸気ボイラー※の稼働を開始

※PCa部材製造時に高温蒸気で養生することで、安定した品質と製造サイクルの短縮(1日でコンクリートが硬化)を実現



サステナブル社会の実現に向けて ～技術開発～

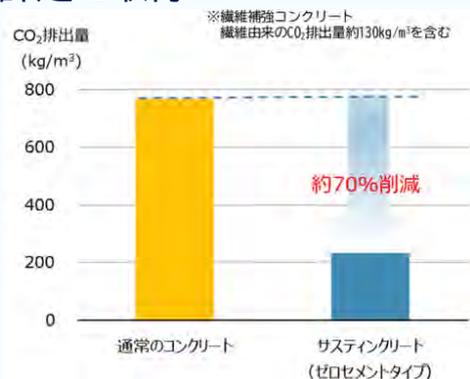
サステナブル技術の展開

脱炭素社会に貢献する技術開発や取り組みを推進

材料に由来するCO2削減に寄与する技術

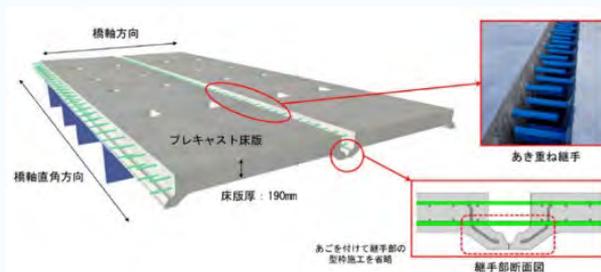
サスティンクリート®

- ✓ゼロセメントタイプの特別工法
評定を取得



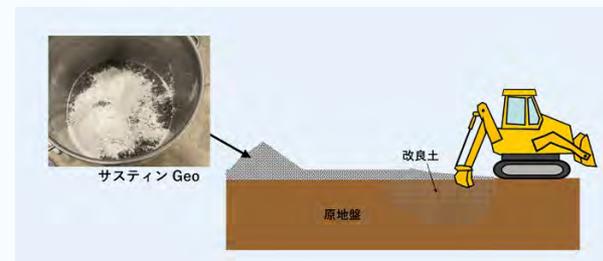
サスティンジョイント®

- ✓プレキャスト床版の接合工法を
現場適用



サスティンGeo™

- ✓地盤改良時のCO₂排出量と六価
クロム溶出量の低減技術を開発



ライフサイクルにおけるCO2削減に寄与する技術

Dura-Bridge®

- ✓腐食劣化を排除した超高耐久橋梁
新たな橋梁への適用を推進

Dura-Slab®

- ✓腐食劣化を排除した超高耐久の
プレキャスト床版

Dura-Barrier®

- ✓腐食劣化を排除した超高耐久の
プレキャスト壁高欄

サステナブル社会の実現に向けて ～再生可能エネルギー事業～

再生可能エネルギー事業の推進 水上太陽光発電を軸に裾野拡大を図る

オフサイトPPA



大阪府 泉佐野市(2.8 MW)
2023年6月より事業開始

オフサイトPPA



大阪府 泉佐野市(1.9MW)
2024年1月より事業開始

オンサイトPPA



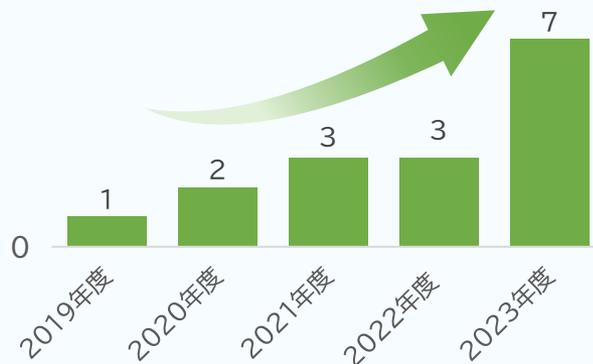
熊本県 Honda熊本製作所(0.8MW)
2024年1月より事業開始

浮体式太陽光発電



「東京バイエSGプロジェクト」に採択され、
2023年12月より洋上での実証開始

水上太陽光発電 事業化数



昨年度4件事業開始

全国7か所にて
水上太陽光発電
事業を展開

再生可能エネルギー
ストック積上げへ向け
適地の拡大も検討

Topics バイオトイレ製造販売の事業化

水循環式バイオトイレ

✓下水道インフラの有無によらず、衛生的でメンテナンス負担の少ない水洗トイレ

バイオトイレのメリット 特徴

- ①環境負担が少ない ⇒ トイレ洗浄水を循環・再利用
- ②災害時も安心 ⇒ いつでも清潔な水洗トイレを利用可能
- ③高度な衛生基準 ⇒ 厚生労働省の管理基準に準拠
- ④メンテナンス負担軽減 ⇒ 原則汲み取りや給水が不要



現場実証試験中のバイオトイレ

今期より 販売開始予定

成長に向けた社員の可能性を拓ける取り組み Plus One Challenge

- ✓新たな収益源の創出
新規事業開発のための事業アイデア創出を目指す
- ✓社員が挑戦する場の提供
社員の可能性を拓げ、事業成長に向けた新たな挑戦を促す文化を構築



サステナブル社会の実現に向けて ～D&Iの推進～

多様な人材が活躍できる企業風土の確立へ

女性活躍の推進

- ✓女性技術者の積極採用 管理職登用
- ✓ライフステージに応じた、キャリアパス

➔社員が能力を発揮できる環境整備



女性技術者 意見交換会



建設業で活躍する女性「けんせつ小町」

採用数(定期採用)	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
女性採用数(人)	25	24	34	31	25
女性採用比率(%)	19.2	18.3	28.8	26.0	28.7

外国籍社員の登用

- ✓国内のみならず海外大学から直接採用
- ✓海外各拠点における採用(現法等含む)
- ✓海外技術職の経験者採用(国内現場に対応)
- ✓CFT※を継続実施、現場就業の円滑化

➔グローバル化に向け体制強化

外国籍社員採用数	2022年	2023年	2024年
国内大学からの採用	7	8	8
海外大学からの採用	3	5	8
海外各拠点採用(現法採用)	343	345	402
海外技術職採用(現場採用)	—	6	4
CFT※(派遣社員)	39	44	12

※CFT クロスファンクショナルチーム :外国籍の技術者による工事における各種検査等を専門とした現場横断型チーム



三井住友建設



大地とともに歩む
三井住建道路



三井住友建設グループ
SMCシビルテクノス株式会社



三井住友建設グループ
株式会社 S M C R



SMCテック株式会社
三井住友建設グループ



SMC商事株式会社



SMCプレコンクリート 株式会社



SMCコスモソリューションズ株式会社



Aseismic Devices Co., Ltd.



三井住友建設鉄構エンジニアリング株式会社



ドーピー建設工業株式会社



株式会社西和工務店

お問い合わせ先

経営企画本部 企画部

Tel. 03-4582-3016 Fax. 03-4582-3205

本資料に掲載しております計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、本資料の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の計画、予測または見通しなどと異なる結果となる可能性があります。